

湯河原町地域福祉会館について

1 これまでの経緯

湯河原町地域福祉会館は、昭和 46 年から昭和 58 年の間に現在の 9 会館を整備しました。最も古い文化福祉会館は、経年で 46 年が経過し他の会館も含め老朽化が深刻となっています。また、新耐震基準（昭和 56 年 6 月）以降の建築は川堀会館のみであることなど、耐震面からも今後のあり方を検討する時期であり、町では、公の施設等整備調査特別委員会で審議するほか、「湯河原町地域福祉会館改修計画調査報告書」を作成するなど検討を始めています。

2 課題概要

湯河原町では、平成 29 年 3 月に地域福祉会館を含めたすべての公の施設を対象とした「湯河原町公共施設等総合管理計画」を策定しました。この中で、集会施設の管理運営方針として「耐震化及び長寿命化への対応を進めるにあたっては、将来人口や利用者のニーズを把握するなど現状を総合的に判断して、施設規模を見直す」としています。今後は、下記の方方向性を踏まえ、該当する会館を絞り込んでいくなどご意見をいただきながら、検討を進めていくことが必要と考えます。

3 方向性の検討

	検 討 項 目	留 意 点
①	統廃合の検討	町の将来人口を見据えながら検討する必要がある。
②	小規模建て替え	移転建て替えや他の施設と統合して建て替えることなどを含めて、検討する必要がある。 全拠点維持とする案は、慎重に検討する必要がある。
③	他の公共施設と併せて検討	地域福祉会館だけでなく他の公共施設との複合的な利用等を検討する必要がある。
④	当面は維持管理修繕などで対応	新耐震建築物である川堀会館や地権者等の整理に時間を要することが想定される門川会館などが想定される。
⑤	民間活力の活用	空き家の利活用やデザインビルド方式（設計施工一括発注方式）やリース方式の検討を進める。